平成20年第4回
美唄市議会定例会会議録
平成20年12月19日(金曜日)
午前10時00分 開議

(美唄市南美唄地区共同
浴場) [産業・厚生]

◎議事日程

第1 会議録署名議員の氏名

第2 委員長報告

- 1 議案第67号 美唄市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更の件 [総務・文教]
- 2 議案第68号 美唄市立学校設置条例の一部改正の件 [総務・文教]
- 3 議案第69号 指定管理者の指定の件 (アルテ ピアッツァ 美唄) [総務・文教]
- 4 議案第70号 指定管理者の指定の件 (美唄市営温水プール) [総務・文教]
- 5 議案第71号 美唄市税条例の一部改正の件 [産業・厚生]
- 6 議案第72号 美唄市国民健康保険条例の一部改正の件 [産業・厚生]
- 7 議案第73号 美唄市建築確認申請等手数料徴収条例の一部改正の件 [産業・厚生]
- 8 議案第74号 美唄市下水道事業受益者分担金条例の一部改正の件 [産業・厚生]
- 9 議案第75号 指定管理者の指定の件 (和田公園) [産業・厚生]
- 10 議案第76号 指定管理者の指定の件

- 11 議案第77号 指定管理者の指定の件 (美唄市し尿処理場)
- 12 議案第78号 指定管理者の指定の件 (美唄斎苑) [産業・厚生]
- 13 議案第79号 指定管理者の指定の件 (美唄市峰延福社会館) [産業・厚生]
- 14 議案第80号 指定管理者の指定の件 (美唄市茶志内福社会館) [産業・厚生]
- 15 議案第81号 指定管理者の指定の件 (美唄市光珠内福社会館) [産業・厚生]
- 16 議案第82号 指定管理者の指定の件 (美唄市東福社会館) [産業・厚生]
- 17 議案第83号 指定管理者の指定の件 (美唄市南福社会館) [産業・厚生]
- 18 議案第84号 指定管理者の指定の件 (美唄市日東福社会館) [産業・厚生]
- 19 議案第85号 指定管理者の指定の件 (美唄市西美唄福社会館) [産業・厚生]
- 20 議案第86号 指定管理者の指定の件 (美唄市中村福社会館) [産業・厚生]
- 21 議案第87号 指定管理者の指定の件 (美唄市茶志内中央福社会館) [産業・厚生]

22	議案第88号	指定管理者の指定の件 (美唄市東明西福祉会館) [産業・厚生]	33	議案第99号	指定管理者の指定の件 (美唄市米穀乾燥調製 処理施設) [産業・厚生]
23	議案第89号	指定管理者の指定の件 (美唄市東4条福祉会館) [産業・厚生]	34	議案第100号	指定管理者の指定の 件 (美唄市小麦集出荷調 製施設) [産業・厚生]
24	議案第90号	指定管理者の指定の件 (美唄市北福祉会館) [産業・厚生]	35	議案第101号	指定管理者の指定の 件 (ピパオイの里プラ ザ) [産業・厚生]
25	議案第91号	指定管理者の指定の件 (美唄市開発福祉会館) [産業・厚生]	36	議案第102号	指定管理者の指定の 件 (美唄市交流拠点施 設) [産業・厚生]
26	議案第92号	指定管理者の指定の件 (美唄市癸巳福祉会館) [産業・厚生]	37	議案第103号	平成20年度美唄市一 般会計補正予算 (第5 号) [予算審査特別]
27	議案第93号	指定管理者の指定の件 (美唄市立茶志内双葉 保育園) [産業・厚生]	38	議案第104号	平成20年度美唄市国 民健康保険会計補正予 算 (第3号) [予算審査 特別]
28	議案第94号	指定管理者の指定の件 (美唄市立峰延保育所) [産業・厚生]	39	議案第105号	平成20年度市立美唄 病院事業会計補正予算 (第2号) [予算審査特 別]
29	議案第95号	指定管理者の指定の件 (美唄市立西美唄保育 園) [産業・厚生]	第3		美唄市選挙管理委員 会委員及び同補充員選 挙
30	議案第96号	指定管理者の指定の件 (美唄市立進徳保育園) [産業・厚生]	第4	意見書案第19号	定額給付金構想を撤 回し市民にとって有効 な景気対策に政策転換 することを求める意見 書
31	議案第97号	指定管理者の指定の件 (美唄市立中村みのり 保育所) [産業・厚生]	第5	意見書案第20号	公的保育制度の改変 に反対する意見書
32	議案第98号	指定管理者の指定の件 (美唄市東地区生活支 援センター) [産業・厚 生]			

◎出席議員（15名）

議長 林 国夫 君
副議長 内馬場 克康 君
1番 吉岡 文子 君
2番 森川 明 君
3番 五十嵐 聡 君
4番 高田 正則 君
5番 高橋 幹夫 君
6番 阿部 義一 君
7番 長谷川 吉春 君
8番 米田 良克 君
9番 白木 優志 君
11番 土井 敏興 君
12番 本郷 幸治 君
13番 紫藤 政則 君
15番 谷村 孝一 君

◎欠席議員（1名）

10番 小関 勝教 君

◎出席説明員

市長 桜井 道夫 君
副市長 斎藤 正紀 君
総務部長 安田 昌彰 君
市民部長 岩本 良一 君
保健福祉部長兼福祉事務所長 中川 直紀 君
商工交流部長 岡嶋 博文 君
農政部長 林 信孝 君
都市整備部長 山口 隆慶 君
市立美唄病院事務局長 奥山 隆司 君
総務部総務課長 小橋 一夫 君
総務部総務課総務係長 村上 孝徳 君

教育委員会委員長 白戸 仁康 君
教育委員会教育長 板東 知文 君
教育委員会教育部長 前田 敏和 君

選挙管理委員会委員長 熊野 宗男 君
選挙管理委員会事務局長 大道 良裕 君

農業委員会会長 佐藤 博道 君
農業委員会事務局長 林 忠男 君

監査委員 扇谷 均 君
監査事務局長 嵯峨 和樹 君

◎事務局職員出席者

事務局長 藤井 英昭 君
次長 中平 匡司 君

午前10時00分 開会

●議長林 国夫君 これより本日の会議を開きます。

この場合、説明員の欠席について、次のとおり通知がありましたので報告いたします。

副市長斎藤正紀君は公務により欠席いたします。

日程の第1、会議録署名議員を指名いたします。

3番 五十嵐聡議員

4番 高田正則議員

を指名いたします。

●議長林 国夫君 次に日程の第2、委員長報告に入ります。

順序1、議案第67号美唄市過疎地域自立

促進市町村計画の一部変更の件ないし、順序
39、議案第105号平成20年度市立美唄
病院事業会計補正予算（第2号）の以上39
件を一括議題といたします。

本件について、それぞれ委員長の報告を求
めます。

まず、議案第67号ないし議案第70号の
以上4件について、土井総務・文教委員長。

●土井総務・文教委員長（登壇） ただいま
議題となりました、議案第67号美唄市過疎
地域自立促進市町村計画の一部変更の件、議
案第68号美唄市立学校設置条例の一部改
正の件、議案第69号指定管理者の指定の件
（アルテピアッツァ美唄）及び議案第70号
指定管理者の指定の件（美唄市営温水プー
ル）の

以上4件について、総務・文教委員会の審査
の経過並びに、結果を一括ご報告申し上げま
す。

経過といたしまして、12月16日、委員
会を招集して審査いたしました。

各議案審査における、質疑・答弁の主なもの
を申し上げます。

はじめに議案第67号について申し上げます。

この事業は、全体でどのくらいの総事業費
なのか、今回の追加の変更の理由というのは、
峰岩地区、沼の内地区、中美唄地区の3地区
が追加されるということだが、3地区の選定
の理由と経過について、との質疑に対し、総
事業費は3地区合計で5年間で78億1,0
00万であり、理由については、本市の農業
の生産基盤整備に当たり、必要な事業の実施
を行う為に、過疎債を充当することとなった

ものである。経過としては、それぞれの地区
から道営事業において生産基盤整備を行いた
い旨の要望があり、市及び道との協議の中
で、この3地区を新たに採択されるよう申請
を行い、本年7月に事業採択に至ったもので
ある。との答弁

地区を決めるにあたっての優先順位、要件
等どういう形でもって選定されたのか、との
質疑に対し、地域の方から要望をいただいて、
その中で市、あるいは道との協議の中で、ど
ちらの地区から先にやるかというような話
し合いに入り、また今後においては、国営の
事業も予定されていることから、その辺の調
整もあり、3地区が採択されたと承知してい
る。との答弁。

基盤整備事業ということに対して、地元負
担がいまの美唄の財政の中で大変な重荷に
なってくる。負担率が17%ということは、
現下の経済状況からいって、大変厳しいもの
ではないのか、との質疑に対し、農業生産基
盤整備事業については、国営事業と道営事業
があるが、今回行う道営事業については、資
料に掲載したとおりの負担率となっている。
国営事業については、事業規模が大変大きく、
将来負担は重くなると考えているので、その
負担のあり方について、十分協議していきたい。
との答弁。

生産基盤整備事業の考え方として、美唄の
農地について全部やるという考え方になっ
ていて、残りの地区は、これから順次やっ
ていくという考え方として、受け止めていいの
か、との質疑に対して、今調査検討している
国営事業があるので、それらを網羅すると、
市内の大まかな部分が整備されるような状

況になると聞いている。との答弁。

これらの事業に地元企業の参入等、そういった考えはあるのか、との質疑に対し、事業実施にあたっては、可能な限り地元企業の方に参入していただきたいと考えており、そのような配慮を今後ともしていきたいと考えている。との答弁。

次に、議案第68号について申し上げます。

統合の話が出てから廃止に至る期間が非常に短い間で進んでいくという事になる。限られた時間の中でやらざるを得ないわけだが、教育委員会として、その辺の状況判断はどうされているか、との質疑に対し、光珠内中央小学校の統合に関しては、平成15年から地域や学校関係者と話をしてきた。本年8月下旬にPTAから教育委員会と学校に対して、来年4月峰延小学校と統合するという事で、進めていきたいという話があった。10月30日には4連合の話し合いがまとまり、地域の意見を集約し、今後学校の跡利用含めて検討していくことで了解を得ている。学校の統合の部分に関しては、光珠内中央小学校と峰延小学校の教職員に経過及び今後の進め方について説明し、更に両校のPTAにも、説明を行っている。11月には来年4月に向けた統合準備委員会を両校の教職員及び保護者とで設置をした。今後、短い期間であるが、統合準備委員会を中心として、しっかりと4月に向けた体制づくり進めていきたいと考えている。との答弁。

統合によって光珠内の児童が全員、峰延小学校に移るという形で理解していいのか。校区はどうなるのか、との質疑に対し、基本的には現在ある峰延小学校の学区、光珠内中央

小学校の学区、これを変更するというような考えはない。統合により、光珠内中央小学校の学区が峰延小学校の学区に合体、統合されるという考え方でいる。との答弁。

次に、議案第69号について申し上げます。

非公募とした理由は何か、との質疑に対し、特定非営利活動法人アルテピアッツァ美唄については、アルテピアッツァ美唄及び周辺環境などを維持保全しながら、その環境をより有効に利活用することや、地域の芸術文化活動の振興を図る事業などを実施し、地域創造に寄与するという事を目的にしている。

アルテピアッツァ美唄の施設を通して、芸術文化の振興を図るという施設の設置目的を、効果的・効率的に達成するということが期待できること。平成18年から指定管理者にしているが、これまでもスムーズな対応と誠実に業務を履行してきていることから、今回非公募としたところである。との答弁。

利用者増に対する工夫や努力について、これまでどのようなことがなされているのか、との質疑に対し、18年度に体験工房を併設した喫茶室を建設し、19年度から供用開始、同じNPO法人に管理委託を行っているが、19年度からは、委託費の増額は行っていない。19年度、20年度については、NPO法人の努力の中で、行っている。体験工房については、NPOの自主事業ということで、心を彫る授業や、また、個人利用、団体専用利用で、1,300人の利用があった。喫茶室についても、1万人以上の方の利用があり、この部分に関しては、NPO法人の努力と考えている。との答弁。

3年間経過しての最大の効果は何と考えるか。との質疑に対し、心を掘る授業などの自主事業、市が直営でやっていると取り組めない、そういう自主事業に取り組んでいただいていること、あるいはアルテのTシャツなどのグッズの販売も新たな取り組みとして行っている。また、開館時間の延長、休館日の臨時開館などの対応、カフェなどのオープンにより、全体的には利用者もふえてきており、施設全体としての、サービス向上が図られてきている。また、最近テレビや雑誌で、取り上げられる機会もふえており、指定管理者による情報発信や、施設のPRに積極的に取り組んでいただいている結果と認識している。との答弁。

今後3年に向けての計画の柱と、雇用して働いてもらっている人が何人いるのか。この3年間で人の交代等があったのかどうか、との質疑に対し、運営していく中で、市民のボランティアを募って、落ち葉拾いでなどやってきている。今年からは、落ち葉拾いだけでなく、カフェの喫茶の運営のお手伝いも無償ボランティアでやってくれる方が出てきている。今後においても、このようなボランティア、市民の力をできるだけ多く取り込んで、運用に当たっていきたい。雇用の関係については、平成18年度は常用雇用が3名、臨時雇用が3名でスタートした。19年度については、体験工房・喫茶がふえたことにより、常用雇用が8名、半日の臨時が2名、パートで喫茶のお手伝いが1名。20年度については、常用雇用が7名、半日の臨時が2名、パートが1名ということになっている。人の交代については、事務局長が18年、19年で

変わり、20年については、現在専任の事務局長がいない状況で、NPO法人の理事が代行している。との答弁。

次に、議案第70号について申し上げます。

選定にあたり他の団体にという議論等は無かったのか、との質疑に対し、温水プールについては、他の施設と違い施設の管理だけすればいいというものではなく、水泳の技術や資格及びインストラクターの配置等も含め、温水プールに関わる安全面での専門的な知識が必要とされている。NPO法人美唄体育協会に3年間委託した結果を見ると、体協自体の実施事業としての水泳教室が20くらいあり、毎年継続して受講され、人数もほとんど変わらない1万3,200人くらい来ている。こういったことも体育協会に対する評価だと思っている。よって、体協にさせることがより効果的かつ効率的だという判断でいる。との答弁。

平成18年度と平成19年度で人件費が200万円ほど下がっているが、何人体制でやっているか、との質疑に対し、18年度については、職員が3名、パートが12名、指導員が6名。19年度については、職員が3名、パートが12名、指導員が6名。20年度については、職員が3名、臨時が4名、パートが5名、指導員が8名。との答弁。

油の高騰の影響は、どのような状況になっているのか、との質疑に対し、今年の前半については、非常に高騰になり、やりくりで苦慮したところである。3月にはかなりの財源不足になるだろうということで、体協とも協議をしている。最終的に、当初の委託料でまかないきれなければ、その分の差額につ

いて、補正予算等々で財源措置するという
ことで考えている。との答弁。

21年度から新しい契約で次の3年に入
るわけだが、人事管理の面で問題が起きると
いうようなことがないのかどうか、との質疑
に対し、これからの3年間の中で当然、今ま
で温水プールに働いていた人は継続される
と思う。ただ今回、財政健全化という話の中
で、温水プール等々の管理についての開館日
数や、時間の短縮等も一方では考えているが、
その中で、人事管理に対しての影響も当然出
てくると思うが、こちらとしては最大限体協
と十分協議して、働いている人方に、極力そ
の影響が出ない中で、どれだけ財政的な面
でお話できるのか、十分競技させていただき
たいと思っている。との答弁。

結果といたしまして、議案第67号ないし
議案第70号の以上4件については、原案の
とおり可決すべきものと、決定いたしました。

本委員会の決定どおり、ご承認いただきま
すよう、お願い申し上げます、報告を終わ
ります。

●議長林 国夫君 次に、議案第71号ない
し議案第102号の以上32件について、紫
藤産業・厚生委員長。

●紫藤産業・厚生委員長（登壇） ただいま
議題となりました、議案第71号美唄税条例
の一部改正の件、議案第72号美唄市国民健
康保険条例の一部改正の件、議案第73号美
唄市建築確認申請等手数料徴収条例の一部
改正の件、議案第74号美唄市下水道事業受
益者分担金条例の一部改正の件、議案第75
号指定管理者の指定の件（和田公園）、議案
第76号指定管理者の指定の件（美唄市南美

唄地区共同浴場）、議案第77号指定管理者
の指定の件（美唄市し尿処理場）、議案第7
8号指定管理者の指定の件（美唄斎苑）、議
案第79号指定管理者の指定の件（美唄市峰
延福社会館）、議案第80号指定管理者の指
定の件（美唄市茶志内福社会館）、議案第8
1号指定管理者の指定の件（美唄市光珠内福
社会館）、議案第82号指定管理者の指定の
件（美唄市東福社会館）、議案第83号指定
管理者の指定の件（美唄市南福社会館）、議
案第84号指定管理者の指定の件（美唄市日
東福社会館）、議案第85号指定管理者の指
定の件（美唄市西美唄福社会館）、議案第8
6号指定管理者の指定の件（美唄市中村福祉
社会館）、議案第87号指定管理者の指定の件
（美唄市茶志内中央福社会館）、議案第88
号指定管理者の指定の件（美唄市東明西福祉
社会館）、議案第89号指定管理者の指定の件
（美唄市東4条福社会館）、議案第90号指
定管理者の指定の件（美唄市北福社会館）、
議案第91号指定管理者の指定の件（美唄市
開発福社会館）、議案第92号指定管理者の
指定の件（美唄市癸巳福社会館）、議案第9
3号指定管理者の指定の件（美唄市立茶志内
双葉保育園）、議案第94号指定管理者の指
定の件（美唄市立峰延保育所）、議案第95
号指定管理者の指定の件（美唄市立西美唄保
育園）、議案第96号指定管理者の指定の件
（美唄市立進徳保育園）、議案第97号指定
管理者の指定の件（美唄市立中村みのり保育
所）、議案第98号指定管理者の指定の件（美唄市
東地区生活支援センター）、議案第99号指
定管理者の指定の件（美唄市米穀乾燥調製処

理施設)、議案第100号指定管理者の指定の件(美唄市小麦集出荷調製施設)、議案第101号指定管理者の指定の件(ピパオイの里プラザ)及び議案第102号指定管理者の指定の件(美唄市交流拠点施設)の以上32件について、産業・厚生委員会の審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

経過といたしまして、12月16日、委員会を招集して審査いたしました。

はじめに、議案第71号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

寄付金の税額控除の対象となる社会福祉法人は「美唄市社会福祉協議会」、「北海道光生会」、「恵和会」、「南静会」の4ヶ所が対象となるということだったが、それ以外に該当する社会福祉法人はないのか、との質疑に対し、美唄市に事務所を持つ社会福祉法人については、4ヶ所のみであるとの答弁がありました。

次に、議案第72号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

初めに、出産育児一時金を分娩費用として、市の方から病院に対して支払うことができるのか、との質疑に対し、基本的には出産後窓口で申請後、現金で支給しているが、本人の希望で受け取り代理という形で医療機関に支払いの申し出をされた場合は、直接市のほうから医療機関に支払うこともできる。との答弁。

次に、1月以降出産育児一時金を受け取る対象人数はどの程度想定しているか、との質疑に対し、過去の支給状況からの推測で1月から3月までで5件を見込んでいる、との答弁。

次に、変更になった出産育児一時金の周知方法は、との質疑に対し、広報誌メロディで周知する。また、気づかずに窓口に来られた方はその場で説明し、書類等を提示していただき加算する、との答弁がありました。

次に、議案第73号の審査において質疑はありませんでした。

次に、議案第74号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

初めに、住民説明会はいつ頃予定しているか、との質疑に対し、平成21年2月頃を予定している、との答弁。

次に、光珠内地区の受益戸数は何戸か、との質疑に対し、119戸、との答弁がありました。

次に、議案第75号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

収支決算報告書中、支出の部の配当金とはどのようなものか、との質疑に対し、日当に当たる、との答弁がありました。

次に、議案第76号の審査において質疑はありませんでした。

次に、議案第77号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

収支決算書中、収入と支出の差し引き額の内訳欄に一般管理費とあるが、この一般管理費の考え方は、との質疑に対し、事業者側の利益ということで、一般管理費という記載は適当ではないので、今後記載の仕方について指導していく、との答弁がありました。

次に、議案第78号の審査において質疑はありませんでした。

次に、議案第79号ないし議案第92号の、以上14件についての審査における質疑・答

弁は、地域福祉会館の指定管理者の指定の件ですので関連性がありますから、一括してご報告申し上げます。

初めに、地域福祉会館について、どのような住民評価がされているか、との質疑に対し、地域からの苦情・要望については特になかったが、地域の方々にはさまざまな活動の場として利用いただいているが、さらに活用していただけるような活動に取り組んでいきたい、との答弁。

次に、委託料の中に含まれるような軽微な修繕以外で、市が負担した大幅な修繕ほどの程度あったか、との質疑に対し、この3年間では大幅な修繕はなかった、との答弁。

次に、すべての福祉会館に葬儀に使えるイスは整備されているか、またそれは運営委員会の中で整備するのか、それとも市が備品として整備するのか、との質疑に対し、14ヶ所の福祉会館すべてにイスは整備されていない。イスについては市が備品として整備するものと考えており、段階的に整備していく計画は立てている、との答弁がありました。

次に、議案第93号ないし議案第97号の、以上5件についての審査における質疑・答弁は、へき地保育所の指定管理者の指定の件ですので関連性がありますから、一括してご報告申し上げます。

初めに、中村みのり保育所と茶志内双葉保育園の合併後の職員体制は、との質疑に対し、現在、中村みのり保育所は2名、茶志内双葉保育園は3名の5名体制だが、合併後は4名体制で考えている、との答弁。

次に、中村みのり保育所と茶志内双葉保育園の合併後、施設の面積は足りているか、と

の質疑に対し、基準は満たしているので、面積的には問題ない、との答弁がありました。

次に、議案第98号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

東地区生活支援センターの主な業務を教えてください、との質疑に対し、主に介護保険の事業で、居宅介護施設と言って、ケアマネジャーがケアプランを立てながらサービスを提供していく業務、訪問介護と言ってヘルパーが家庭に出向いて行っている業務、デイサービスと言われる通所介護、身体障害者の自立支援で訪問介護、地域の方々に対して社会貢献的な事業で福祉入浴のサービス、さらに、東地区のシルバーハウジングという高齢者専用住宅の生活指導員の派遣事業を委託業務として受けてもらっている、との答弁がありました。

次に、議案第99号の審査における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

市からは委託料は出していないが、どのように収入を得ているか、との質疑に対し、米穀乾燥調製処理施設の、その関連施設のくん炭工房、2つの施設の利用者負担によってまかなっている、との答弁がありました。

次に、議案第100号ないし102号の審査において質疑はありませんでした。

結果といたしまして、議案71号ないし議案第102号の以上32件につきましては、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本委員会の決定どおりご承認いただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長林 国夫君 次に、議案第103号な

いし議案第105号の以上3件について、米田予算審査特別委員長。

●米田予算審査特別委員長（登壇） ただいま議題となりました、議案第103号平成20年度美唄市一般会計補正予算（第5号）、議案第104号平成20年度美唄市国民健康保険会計補正予算（第3号）、及び議案第105号平成20年度市立美唄病院事業会計補正予算（第2号）の以上3件について、予算審査特別委員会の審査の経過並びに結果を一括して御報告申し上げます。

経過といたしまして、12月17日、委員会を招集して審査をいたしました。

まず初めに、議案第103号に対する質疑・答弁のうち、主なものについて申し上げます。

市税特別徴収のシステム回収費委託先と決定方法は、との質疑に対し、改修は住基システムの中のシステムの一部改修で、このシステムを委託している会社に委託する。AP Sの委託は道内92市町村が共同で業者を株式会社HARPに選定、契約は個々の市町村が行なっている。との答弁。

福祉灯油の券の配布は、当該市民が何度も役所へ足を運ばないで済むようにできないか、との質疑に対し、申請後は税を調べ、決定したら灯油券は郵送する。との答弁。

福祉灯油の初めの予算には市の福祉基金が入っていたが、この補正では福祉基金が外れたのはなぜか、との質疑に対し、当初は市の福祉基金との補助金を財源にしたが、国の特別交付金がついたのと、10万円上積みになった道の補助金で措置することにした。との答弁。

就労対策事業をシルバー人材センターに委託したのはなぜか、対象になる人数が限られるのではないか、との質疑に対し、求職中の人を年齢制限なく対象にする。市が窓口になり、シルバーの登録者とは別に募集する。事業の事務をシルバー人材センターに委託した。との答弁。

学校の耐震2次診断はいつの予定か、耐震工事の見通しは、財政健全化計画案の中に普通建設工事があるが、これとの整合性はどうか、との質疑に対し、学校の耐震化は最優先の課題と認識している。道の指導による1次診断を受け、今回の2次診断の結果によって耐震工事の計画に着手する。国の補助基準の高い平成22年までに取り組みたい、健全化計画の普通建設工事は、特定の工事を決めたものではない。との答弁。

小麦集出荷調製施設の改修事業について、現有施設と新設施設の処理能力はどうか、との質疑に対し、現在の施設は1日20トン、年間2,400トン进行处理、新しい施設は1日40トン、年間6,000トンの処理が可能になる。との答弁。

小麦集出荷調製施設のようなシステムは、最近は一式をまとめてつくる方式が多いが、価格のことを考えると、これまで使っていた機器を再利用することで安く仕上がる、農業は機械や資材の費用が大きいので、工夫が必要と思うが、との質疑に対し、現在の施設の中で使える部分はできるだけ活用する形で設定している。費用は節減に心がけた。との答弁。

次に、議案第104号に対する質疑答弁のうち、主なものについて申し上げます。

国保会計の退職被保険者等療養給付費が、一人当たり29.6%と大幅に上がった理由と、今年度の制度改正の内容は、との質疑に対し、退職被保険者等療養給付が本年4月から7月で、昨年同期比較で増えたのが、入院者の増で給付が伸び、自己負担も伸びることになった。資料に載っている伸び率は、当初予算との比較の結果で、予算を組む際に退職被保険者から一般へ移る、これは制度改正によるものです。移る分の見込みが団塊世代の大量退職者の動向を把握することが難しく、当初、少な目に見積もったことが原因である。この分の財源となる1つ目の療養給付費等交付金は、被用者保険、これは現役世代の社保や共済組合は、被用者保険よりの拠出金で賄い、2つ目の共同事業交付金は、市町村の拠出、これは過去2、3年の実績状況により額が決まって、拠出の際は国と道が合わせて2分の1になりますが、補助があるもので、この市町村の拠出金による再保険制度で、必要に応じて支払われ、結果として市の国保会計への影響が少ないものとする。との答弁。

次に、議案第105号に対する質疑・答弁のうち主なものについて申し上げます。

新型インフルエンザ関連の予算があるがこの内容は、職員配置の計画と実績の乖離による予算があるが、その人数はどうか、診療体制充実で2,300万円の予算だが、外科の医師1名でこの金額か、負担金の内容は、との質疑に対し、インフルエンザ関連で、南空知2次医療圏で10ヶ所の病院で、人工呼吸器整備の計画による補助事業の呼びかけに応え整備することにした。市立病院再編計画の職員数と実績の差は、正規職員・嘱託・

パートについて、看護部門・薬剤師・事務部門・栄養士、その他を合計すると計画より8人多い状態になる。医師給与は北大からの派遣は、週交代で数人来ている分が年間2,300万円、江別市立の週1回派遣の負担金が1日10万円で、年間350万円になる。との答弁。

結果といたしまして、議案第103号ないし議案第105号の以上3件については、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

本委員会の決定どおり、ご承認いただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長林 国夫君 これより議案第67号ないし議案第70号の以上4件について一括質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、一括質疑を終結いたします。これより一括討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括討論を終結いたします。これより一括採決いたします。

本件は、委員長報告とおりに決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって議案第67号美唄市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更の件ないし、議案第70号指定管理者の指定の件の以上4件は、委員長報告のとおり決定されました。

これより議案第71号ないし議案第102号の以上32件について一括質疑を行いません。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括質疑を終結いたします。
これより一括討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括討論を終結いたします。
これより一括採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第71号美唄市税条例の一部改正の件ないし議案第102号指定管理者の指定の件の以上32件は、委員長報告のとおり決定されました。

これより議案第103号ないし議案第105号の以上3件について一括質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括質疑を終結いたします。
これより一括討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括討論を終結いたします。
これより一括採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって議案第103号平成20年度美唄市一般会計補正予算(第5号)ないし議案第105号平成20年度市立美唄病院事業会計補正予算(第2号)の以上3件は、委員長報告のとおり決定されました。

●議長林 国夫君 次に日程の第3、美唄市

選挙管理委員会委員及び同補充員選挙を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選により行いたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって選挙の方法は指名推選によることに決定いたしました。

お諮りいたします。

指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決定いたしました。

お諮りいたします。

選挙管理委員会委員に、後藤泰彦君、竹山哲郎君、平野豊明君、福田征機君を、選挙管理委員会委員補充員に田川恭一君、中田礼治君、鈴木順一君、横山勝美君の以上、被指名人をもって当選人と定めること、並びに補充員の順序は、指名順序によることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、美唄市選挙管理委員会委員及び補充員については、指名のとおり決定されました。

この場合、12月22日をもって選挙管理委員会委員長を退任されます、熊野宗男君か

ら発言を求められておりますので、これを許します。

熊野宗男君。

●選挙管理委員会委員長熊野宗男君（登壇）

お許しをいただきましたので、委員長退任のごあいさつを申し上げます。

12月の22日をもちまして、任期満了により選挙管理委員会の委員長を退任いたします。

8年間にわたり委員長として各種選挙の執行に携わってまいりました。この間、期日前投票制度の導入があるなど、より投票しやすい選挙となり、また、大過なく選挙を執行し、この職責をまっとうできましたことが関係各位のご理解とご協力によるものと深く感謝を申し上げます。終わりになりますが、美唄市政の限りないご発展と、美唄市議会のご隆盛をご祈念申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

●議長林 国夫君 次に日程の第4、意見書案第19号定額給付金構想を撤回し市民にとって有効な景気対策に政策転換することを求める意見書及び日程の第5、意見書案第20号公的保育制度の改変に反対する意見書の以上2件を一括議題といたします。

本件に関し、それぞれ提案理由の説明を求めます。

まず、意見書案第19号について、13番、紫藤政則議員。

●13番紫藤政則議員（登壇） ただいま議題となりました、意見書案第19号につきまして、案文を朗読し、提案理由の説明にかえ

させていただきます。

定額給付金構想を撤回し市民にとって有効な景気対策に政策転換することを求める意見書

政府与党が構想している総額2兆円の定額給付金は、生活支援か景気対策か政策目標が定まらず、所得制限内容で迷走を続けていましたが、総務省はこのほど、事務を担当する自治体側に支給方法の原案を示しました。

原案のポイントは「年度内支給」「全世帯給付」の原則を強調し、所得制限については設けないことを基準にしつつも、市町村が受給辞退を求めることができるとし、判断を市町村に委ねるあいまいさを残しています。

自治体からは、国の2次補正予算案が明らかになっていない中で、「どうてい年度内支給は困難」と事務処理上の課題が提起され、定額給付金の政策効果に対しては、国民から「バラまきでは」との声が上がっています。

新聞の世論調査では、「評価しない」との回答が70%に上昇し、もともと早期の衆院解散・総選挙を想定した選挙対策の意味が強かった施策であることから、国民世論は政策転換を求めていると考えるべきです。

定額給付金が実現すると、美唄市には約4億円が交付されると試算できます。これだけの予算を自由に使うことが出来れば、市民のための政策推進につながる景気対策が組めます。それは、大規模地震による倒壊の危険性の高い学校校舎の耐震化工事、老朽化した公共施設の維持補修工事を行うことで、児童

生徒や市民の安全を守ることができます。施設整備は、建設、塗装、資材など幅広い業種に及び、下請け企業まで含めた経済波及効果が大きく、地元の雇用対策にもつながります。

いくら経済が厳しくても一時の消費ではなく、市民生活の将来への投資に貴重な税金を使うことこそ賢明な政策であると考えます。

よって、政府においては、定額給付金構想を撤回し、その財源を地方に一般財源として交付し、景気対策に投入することが出来るよう、政策転換を図られることを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成20年12月19日

北海道美唄市議会

なお、提出先は案文記載のとおりでありますので、原案のとおりご承認いただきますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わらせていただきます。

●議長林 国夫君 次に、意見書案第20号について、1番、吉岡文子議員。

●1番吉岡文子議員（登壇） ただいま議題となりました、意見書案第20号につきまして、案文を朗読し、提案理由の説明にかえさせていただきます。

公的保育制度の改変に反対する意見書

いま、厚生労働省の社会保障審議会少子対策特別部会で、現行の公的保育制度を改変しようとする論議が速いテンポで行われており、現行の公的保育制度の存続が重大な事態

に直面しています。

ひとつは、保育所への入所・運営に自治体が責任を持つ現行制度を、父母と保育所との「直接契約」にするものです。「直接契約」になれば、保護者は直接保育園に入所を申し込み、保育料は事業者が自由に設定でき、保育内容も保育料次第となります。

儲けが見込めれば営利企業が参入するが、儲けからなければ撤退も自由になります。これでは安定した運営が困難となる事態も予想され、儲け優先による保育士の労働条件の悪化、保育水準の低下、施設間の格差拡大、低所得者は契約（利用）出来ないなどの事態も懸念されます。犠牲になるのは幼い子供たちです。

今ひとつは、児童福祉施設最低基準（施設の面積、乳幼児や調理室、保育士の人数などの最低基準を定めたもの）の緩和・撤廃です。最低基準の撤廃は、儲け本位の詰め込み保育や安上がり保育を生み、保育の質の低下を招きます。ここでも犠牲になるのは子供たちであり、保育を営利企業の儲けの場にするのでは安心して子供を預ける事は出来ず、将来に禍根を残すこととなります。

本市には4カ所の市立保育所（在籍延べ人数2,400人）、5カ所の僻地保育所（在籍延べ人数1,750人）合わせて4,150人もの子供たちが公的保育所に入所していますが、保育制度の改変は保護者にとっても、子供たちにとっても重大な影響を及ぼすものです。

よって、このような公的保育所制度の改変に反対し、その維持存続・拡充のため下記のことを要望します。

記

1. 国・自治体が保育に責任を持つ現行の公的保育制度を維持・存続すること。

2. 保育予算を増やし、計画的に保育所整備を進め、待機児童の解消、保育条件の改善・拡充をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成20年12月19日

北海道美唄市議会

なお、提出先は案文記載のとおりでありますので、原案のとおりご承認いただきますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わらせていただきます。

●議長林 国夫君 これより意見書案第19号について質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

本件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議あり」と呼ぶ者あり)

ご異議がありますので、起立により採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立少数であります。

よって、意見書案第19号定額給付金構想を撤回し市民にとって有効な景気対策に政策転換することを求める意見書は否決され

ました。

お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明のありました意見書案第20号については、別にご発言もないようですので、原案のとおり決することにご異議ごありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、意見書案第20号公的保育制度の**改変に反対する意見書は原案のとおり決定**されました。

以上をもちまして、今期定例会に付議されました各案件は全部議了いたしました。

これをもって、平成20年第4回美唄市議会定例会は閉会いたします。

午前10時50分 閉会